



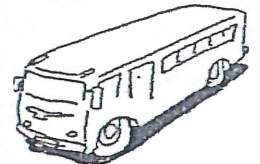
ふれあい 生きあい ささえあい



○今年もバスに揺られて、楽しくまなび、楽しく遊ぼう○

—のびやかに、はれやかに、“心に春”“体に春”の種まきを！

今年は“京田辺、宇治”方面へ行ってみましょう—



- ◆日時 2019年3月26日(火) 午前8時30分出発～午後5時まえ帰着
- ◆集合 午前8時20分:山中比叡平市民センター前庭
- ◆行く先 ①農福連携、6次産業化を越える障害者支援事業を展開する《さんさん山城》に学ぶ。
②宇治市槇島の《丸久小山園》抹茶製造工場を見学し、抹茶についての学びを深める。
- ◆参加申込 定員に達した時点でしめきります。
- ◆参加費 ひとり 2,000円 (お食事代、研修見学する茶工場での500円分の買い物券を含む)

その1 京田辺の障害(聴覚、精神、知的)者就労支援事業所

《さんさん山城》での研修・見学です。

地域のブランド野菜である京都エビモや独特の農法で育てる京都田辺ナス、万願寺トウガラシ、タカハツメ、宇治抹茶など多くの作物を栽培し、単なる農家のお手伝いというレベルの「農・福連携」ではなく、休耕地を借りて自ら学び栽培する農業、その上に、いわゆる6次産業化としての加工品、抹茶クッキー、濃茶大福、田辺なすジャム、えびいもコロケなどいろいろな商品の開発や、新たな販路の開拓にも努めている。手間のかかる茶の苗木の生産は、地域の農家にも出荷して喜ばれ、こうした外へ向けての発信が地域住民の関心、好感、信頼をよび、近隣と密着したい協力関係が築けている。施設長の新免修さんと管理者の藤永実さんのお話を聞きするのだが、私はこのお二人を「経営者」とも考えている。



その2 さんさん山城 事業所内の《コミュニティカフェ》で、

通所利用者が栽培し調理した食事をいただきながら交流します。

2017年4月にオープンした《コミュニティカフェ》は、私がお訪ねした1月10日には、来店者が12,000人を超えているとのことでしたから、ひとしたら、3月に行く私たちが13,000人目になるかも・・・ね。

その3 宇治茶製造販売の老舗《丸久小山園》^{まるきゅう}の槇島工場を見学します。

宇治の「源氏物語ミュージアム」とどちらにしようかと迷ったのですが、抹茶工場の方にしました。斎藤工場長によるビデオレクチャー、工場・お茶審査室見学、お茶室体験、試飲や抹茶の点て方体験などです。

.....申込書.....



アクセス→529-2885(楠本)、529-2594(櫻井)、529-2145(谷)または市民センターまで(参加費は当日)。

お名前

住所(山中町・比叡平)

電話

同じ世帯の同伴者 1)

2)



——地域ブランドづくり《山中もちひかり物語》が“餅つきの祭り”で幕を閉じた——

○本年度しめくいの学区事業《餅つき大会》に150人ほどが参加○ 2019/2/17

昨年5月、餅つき大会の行事担当が学区社協と決まった時、どうせなら地域でつくったもち米で考えたところから《山中もちひかり物語》が始まった。二つの地域の人と暮らしの交流もまた、大きな目的の一つだった。



6月の9日に、みんなで田植え



この物語は田んぼへの水路みちを作るところから始まる



稲刈りから足踏み脱穀、稲わらのはさ掛けまで体験



台風一過；力尽きし友かかえるがごと稲穂を起こす



受付と“お年玉”（もう2月なんだけど？）抽選会



“山中もちひかり”のウスをつく子どもたち



なんてっだって、手作りのお米に手づくりのおもちが一番！



中学生もお手伝いに；いつもありがとう！